

(茨城県知事選挙立候補予定者)

様

2017年7月20日

脱原発ネットワーク茨城

「原子力政策についての公開質問状」

この度の県知事選挙では、20年延長申請期間を間近にひかえ、東海第二原発の再稼働に有権者の関心が高まっています。そこで、立候補予定者の皆様へ原子力政策に関する考えをお伺いし、有権者へ広く知って頂く機会を設けるため、公開質問状をお送りいたします。ご多忙の折、恐縮ですが、ご回答をよろしくお願いいたします。

【ご送付】 公開質問状は簡易書留にて、下記3名（五十音順）にお送りします。

大井川かずひこ後援会事務所 〒300-0852 水戸市笠原町 600-116

鶴田まこみ後援会事務所 〒310-0804 水戸市白梅 3-9-7

橋本まさる後援会事務所 〒310-0836 水戸市元吉田町 1029-7

【ご回答】 別紙の回答用紙を、事前連絡の上、2017年7月30日（日）に各事務所へ受け取りに伺います。ご都合あわないときは、下記のお問合せ先にご送付頂いても構いません。

【情報公開】 ご回答は、新聞各社などマスコミ、ならびに、当会のホームページ (<https://nonukes-ibaraki.jimdo.com/>) にて、有権者にむけて情報公開します。ご回答がない場合は、原子力政策へ無回答として情報公開します。

【お問合せ】 脱原発ネットワーク茨城

担当：永井（TEL 070-5079-6308）、江口（TEL 090-9299-3783）

メール（代表） nonukes.ibaraki@gmail.com

当会は、原発に頼らない社会を目指す市民ネットワーク団体です。2011年7月設立。

茨城県知事選挙 2017 原子力政策についての公開質問状 ご回答用紙

回答者（茨城県知事選立候補予定者）

お名前： _____

問1 原子力安全協定の見直しについて

現在、東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、水戸市の首長らで構成する「原子力所在地首長懇談会」が日本原電に対して「原子力安全協定の見直し」を要求しています。県知事候補予定者としての考えを聞かせてください。（どれか1つに○をつけてください）

- A 現状のままでよい。見直す必要はない。
- B 首長懇談会の要請通り、安全協定は見直すべきである。
- C 現段階では答えられない。

ご意見欄

問2 原子力災害に備えた茨城県広域避難計画について

既に県での策定がまとまったとされ、現在各自治体で具体的策が検討されている「原子力災害に備えた茨城県広域避難計画」についてお尋ねします。県知事選立候補予定者としてこの計画は、見直す必要があると考えますか。実効性に照らしたご回答をお願いします。（どれか1つに○をつけてください）

- A 現状のままでよい。見直す必要はない。
- B 見直す必要がある。
- C 現段階では答えられない。

ご意見欄

問3 東海第二原発の運転再開について

仮に、原子力規制委員会により、科学的・技術的見地から、東海第二原発の「適合性審査」、および「運転期間延長申請」が認められた場合、県知事は運転再開の是非について総合的な見地からの「判断」を求められます。その時、運転再開に同意されますか。（どれか1つに○をつけてください）

- A 運転再開に同意する。
- B 運転再開に同意しない。
- C 現段階では答えられない。

ご意見欄